

電報欄

であらうと
●諸威皇儲の御婚儀

リオ市病院産科
ボルヂエダ・コスター博士助手
アスバ・スコット博士助手

内科兒科婦人科
アントス市
ナントス市
内科兒科婦人科
アントス市
ナントス市

蒲鉾、竹輪、飯蛸、蛸味附、鰐浦燒、穴子蒲燒、米烏賊、
烏賊、蟹ボイル、海老ボイ、鮑味附、鰐浦燒、穴子蒲燒、米烏賊、
漬赤貝、揚卷貝、淺里貝、小貝水煮、さざえ、鮑ボイル、鮑味附
帆立貝、貝柱、鮑味附、鮑味附、鮑味附、鮑味附、鮑味附
神漬、奈良漬、いもけ漬、保薦漬、紫草實漬、松茸ボイル、松
味附、燒松茸、筍ボイル、筍味附、ふきボイル、白瀧、生海苔佃
夷、遠根柏漬、赤らめ、

罐詰類

●東京市の大火

「東京十五日發電」烈風中に火災起り既に一千二百餘戸を鳥有に歸し盛んに延焼しつゝあり

火勢猛烈なる爲め消防隊のみにては力及ばず軍隊の出動を乞ひ協力して破壊消火を行はんとしてゐる

●山陽線の大惨事

「東京十六日發電」本日下關を發せる山陽線の一列車脱線四輛覆し慘死者約二百名を出す

●天津に戒嚴令

「倫敦十四日發電」タイムス廣東通信員の報に依れば目下の重大なる事局に處する爲天津市内に戒嚴令布かれ公使館其他の外國公館には嚴重なる警備が行はれてゐる

●玖馬糖の大打撃

「ハバナ十五日發電」十一日甘馬サンチャゴ地方の甘蔗園に大火あり砂糖約七萬五千俵の產額減少を來すであらうと

●美人競争當選者

「ハバナ十四日發電」巴里で行はれたる全歐羅巴美人競争には塊木イザベル・シモン娘が一等當選した

●柏林の交通事故

「柏林十四日發電」一九二八年度に於ける柏林市内の交通事故數は二万七千六百一件にして死者二百十八名、負傷者一万一千七百五十五名を出してゐる

●北米の綿花產額豫想

「紐育十四日發電」合衆國の英米戦争の豫想を引見して英米戦争の豫言をなした、曰く霸を競ふ英米兩國は軍備に貿易權擴張に激争逐年深刻を極めその結果は茲十年を出でずして必ず大戰禍を捲き起す

●山陽線の大惨事

「東京十六日發電」本日下關を發せる山陽線の一列車脱線四輛覆し慘死者約二百名を出す

●天津に戒嚴令

「倫敦十四日發電」タイムス廣東通信員の報に依れば目下の重大なる事局に處する爲天津市内に戒嚴令布かれ公使館其他の外國公館には嚴重なる警備が行はれてゐる

●玖馬糖の大打撃

「ハバナ十五日發電」十一日甘馬サンチャゴ地方の甘蔗園に大火あり砂糖約七萬五千俵の產額減少を來すであらうと

●美人競争當選者

「ハバナ十四日發電」巴里で行はれたる全歐羅巴美人競争には塊木イザベル・シモン娘が一等當選した

●柏林の交通事故

「柏林十四日發電」一九二八年度に於ける柏林市内の交通事故數は二万七千六百一件にして死者二百十八名、負傷者一万一千七百五十五名を出してゐる

●北米の綿花產額豫想

「紐育十四日發電」合衆國の英米戦争の豫想を引見して英米戦争の豫言をなした、曰く霸を競ふ英米兩國は軍備に貿易權擴張に激争逐年深刻を極めその結果は茲十年を出でずして必ず大戰禍を捲き起す

●山陽線の大惨事

「東京十六日發電」本日下關を發せる山陽線の一列車脱線四輛覆し慘死者約二百名を出す

●天津に戒嚴令

「倫敦十四日發電」タイムス廣東通信員の報に依れば目下の重大なる事局に處する爲天津市内に戒嚴令布かれ公使館其他の外國公館には嚴重なる警備が行はれてゐる

●玖馬糖の大打撃

「ハバナ十五日發電」十一日甘馬サンチャゴ地方の甘蔗園に大火あり砂糖約七萬五千俵の產額減少を來すであらうと

●美人競争當選者

「ハバナ十四日發電」巴里で行はれたる全歐羅巴美人競争には塊木イザベル・シモン娘が一等當選した

●柏林の交通事故

「柏林十四日發電」一九二八年度に於ける柏林市内の交通事故數は二万七千六百一件にして死者二百十八名、負傷者一万一千七百五十五名を出してゐる

●北米の綿花產額豫想

「紐育十四日發電」合衆國の英米戦争の豫想を引見して英米戦争の豫言をなした、曰く霸を競ふ英米兩國は軍備に貿易權擴張に激争逐年深刻を極めその結果は茲十年を出でずして必ず大戰禍を捲き起す

●山陽線の大惨事

「東京十六日發電」本日下關を發せる山陽線の一列車脱線四輛覆し慘死者約二百名を出す

●天津に戒嚴令

「倫敦十四日發電」タイムス廣東通信員の報に依れば目下の重大なる事局に處する爲天津市内に戒嚴令布かれ公使館其他の外國公館には嚴重なる警備が行はれてゐる

●玖馬糖の大打撃

「ハバナ十五日發電」十一日甘馬サンチャゴ地方の甘蔗園に大火あり砂糖約七萬五千俵の產額減少を來すであらうと

●美人競争當選者

「ハバナ十四日發電」巴里で行はれたる全歐羅巴美人競争には塊木イザベル・シモン娘が一等當選した

●柏林の交通事故

「柏林十四日發電」一九二八年度に於ける柏林市内の交通事故數は二万七千六百一件にして死者二百十八名、負傷者一万一千七百五十五名を出してゐる

●北米の綿花產額豫想

「紐育十四日發電」合衆國の英米戦争の豫想を引見して英米戦争の豫言をなした、曰く霸を競ふ英米兩國は軍備に貿易權擴張に激争逐年深刻を極めその結果は茲十年を出でずして必ず大戰禍を捲き起す

●山陽線の大惨事

「東京十六日發電」本日下關を發せる山陽線の一列車脱線四輛覆し慘死者約二百名を出す

●天津に戒嚴令

「倫敦十四日發電」タイムス廣東通信員の報に依れば目下の重大なる事局に處する爲天津市内に戒嚴令布かれ公使館其他の外國公館には嚴重なる警備が行はれてゐる

●玖馬糖の大打撃

「ハバナ十五日發電」十一日甘馬サンチャゴ地方の甘蔗園に大火あり砂糖約七萬五千俵の產額減少を來すであらうと

●美人競争當選者

「ハバナ十四日發電」巴里で行はれたる全歐羅巴美人競争には塊木イザベル・シモン娘が一等當選した

●柏林の交通事故

「柏林十四日發電」一九二八年度に於ける柏林市内の交通事故數は二万七千六百一件にして死者二百十八名、負傷者一万一千七百五十五名を出してゐる

●北米の綿花產額豫想

「紐育十四日發電」合衆國の英米戦争の豫想を引見して英米戦争の豫言をなした、曰く霸を競ふ英米兩國は軍備に貿易權擴張に激争逐年深刻を極めその結果は茲十年を出でずして必ず大戰禍を捲き起す

●山陽線の大惨事

「東京十六日發電」本日下關を發せる山陽線の一列車脱線四輛覆し慘死者約二百名を出す

●天津に戒嚴令

「倫敦十四日發電」タイムス廣東通信員の報に依れば目下の重大なる事局に處する爲天津市内に戒嚴令布かれ公使館其他の外國公館には嚴重なる警備が行はれてゐる

●玖馬糖の大打撃

「ハバナ十五日發電」十一日甘馬サンチャゴ地方の甘蔗園に大火あり砂糖約七萬五千俵の產額減少を來すであらうと

●美人競争當選者

「ハバナ十四日發電」巴里で行はれたる全歐羅巴美人競争には塊木イザベル・シモン娘が一等當選した

●柏林の交通事故

「柏林十四日發電」一九二八年度に於ける柏林市内の交通事故數は二万七千六百一件にして死者二百十八名、負傷者一万一千七百五十五名を出してゐる

●北米の綿花產額豫想

「紐育十四日發電」合衆國の英米戦争の豫想を引見して英米戦争の豫言をなした、曰く霸を競ふ英米兩國は軍備に貿易權擴張に激争逐年深刻を極めその結果は茲十年を出でずして必ず大戰禍を捲き起す

●山陽線の大惨事

「東京十六日發電」本日下關を發せる山陽線の一列車脱線四輛覆し慘死者約二百名を出す

●天津に戒嚴令

「倫敦十四日發電」タイムス廣東通信員の報に依れば目下の重大なる事局に處する爲天津市内に戒嚴令布かれ公使館其他の外國公館には嚴重なる警備が行はれてゐる

●玖馬糖の大打撃

「ハバナ十五日發電」十一日甘馬サンチャゴ地方の甘蔗園に大火あり砂糖約七萬五千俵の產額減少を來すであらうと

●美人競争當選者

「ハバナ十四日發電」巴里で行はれたる全歐羅巴美人競争には塊木イザベル・シモン娘が一等當選した

●柏林の交通事故

「柏林十四日發電」一九二八年度に於ける柏林市内の交通事故數は二万七千六百一件にして死者二百十八名、負傷者一万一千七百五十五名を出してゐる

●北米の綿花產額豫想

「紐育十四日發電」合衆國の英米戦争の豫想を引見して英米戦争の豫言をなした、曰く霸を競ふ英米兩國は軍備に貿易權擴張に激争逐年深刻を極めその結果は茲十年を出でずして必ず大戰禍を捲き起す

●山陽線の大惨事

「東京十六日發電」本日下關を發せる山陽線の一列車脱線四輛覆し慘死者約二百名を出す

●天津に戒嚴令

「倫敦十四日發電」タイムス廣東通信員の報に依れば目下の重大なる事局に處する爲天津市内に戒嚴令布かれ公使館其他の外國公館には嚴重なる警備が行はれてゐる

●玖馬糖の大打撃

「ハバナ十五日發電」十一日甘馬サンチャゴ地方の甘蔗園に大火あり砂糖約七萬五千俵の產額減少を來すであらうと

●美人競争當選者

「ハバナ十四日發電」巴里で行はれたる全歐羅巴美人競争には塊木イザベル・シモン娘が一等當選した

●柏林の交通事故

「柏林十四日發電」一九二八年度に於ける柏林市内の交通事故數は二万七千六百一件にして死者二百十八名、負傷者一万一千七百五十五名を出してゐる

●北米の綿花產額豫想

「紐育十四日發電」合衆國の英米戦争の豫想を引見して英米戦争の豫言をなした、曰く霸を競ふ英米兩國は軍備に貿易權擴張に激争逐年深刻を極めその結果は茲十年を出でずして必ず大戰禍を捲き起す

●山陽線の大惨事

「東京十六日發電」本日下關を發せる山陽線の一列車脱線四輛覆し慘死者約二百名を出す

●天津に戒嚴令

「倫敦十四日發電」タイムス廣東通信員の報に依れば目下の重大なる事局に處する爲天津市内に戒嚴令布かれ公使館其他の外國公館には嚴重なる警備が行はれてゐる

●玖馬糖の大打撃

「ハバナ十五日發電」十一日甘馬サンチャゴ地方の甘蔗園に大火あり砂糖約七萬五千俵の產額減少を來すであらうと

●美人競争當選者

「ハバナ十四日發電」巴里で行はれたる全歐羅巴美人競争には塊木イザベル・シモン娘が一等當選した

●柏林の交通事故

「柏林十四日發電」一九二八年度に於ける柏林市内の交通事故數は二万七千六百一件にして死者二百十八名、負傷者一万一千七百五十五名を出してゐる

●北米の綿花產額豫想

「紐育十四日發電」合衆國の英米戦争の豫想を引見して英米戦争の豫言をなした、曰く霸を競ふ英米兩國は軍備に貿易權擴張に激争逐年深刻を極めその結果は茲



戯戀者の手紙

(2)

第一信

今×日午後十一時四十分。

私は

自

の

部

室

で

椿

の

花

片

の

や

う

な

あ

な

の

居

を

幻

に

見

た

め

な

が

見

た

と

か

れ

る

と

か

れ

る

と

か

れ

る

と

か

れ

る

と

か

れ

る

と

か

れ

る

と

か

れ

る

と

か

れ

る

と

か

れ

る

と

か

れ

る

と

か

れ

る

と

か

れ

る

と

か

れ

る

と

か

れ

る

と

か

れ

る

と

か

れ

る

と

か

れ

る

と

か

れ

る

と

か

れ

る

と

か

れ

る

と

か

れ

る

と

か

れ

る

と

か

れ

る

と

か

れ

る

と

か

れ

る

と

か

れ

る

と

か

れ

る

と

か

れ

る

と

か

れ

る

と

か

れ

る

と

か

れ

る

と

か

れ

る

と

か

れ

る

と

か

れ

る

と

か

れ

る

と

か

れ

る

と

か

れ

る

と

か

れ

る

と

か

れ

る

と

か

れ

る

と

か

れ

る

と

か

れ

る

と

か

れ

る

と

か

れ

る

と

か

れ

る

と

か

れ

る

と

か

れ

る

と

か

れ

る

と

か

れ

る

と

か

れ

る

と

か

れ

る

と

か

れ

る



ノロ線殖民の面影

其一

虎

眼

其二

虎

眼

其三

虎

眼

其四

虎

眼

其五

虎

眼

其六

虎

眼

其七

虎

眼

其八

虎

眼

其九

虎

眼

其十

虎

眼

其十一

虎

眼

其十二

虎

眼

其十三

虎

眼

其十四

虎

眼

其十五

虎

眼

其十六

虎

眼

其十七

虎

眼

其十八

虎

眼

其十九

虎

眼

其二十

虎

眼

其二十一

虎

眼

其二十二

虎

眼

其二十三

虎

眼

其二十四

虎

眼

其二十五

虎

眼

其二十六

虎

眼

其二十七

虎

眼

其二十八

虎

眼

其二十九

虎

眼

其三十

虎

眼

其三十一

虎

眼

其三十二

虎

眼

其三十三

虎

眼

其三十四

虎

眼

其三十五

虎

眼

其三十六

虎

眼

其三十七

虎

眼

其三十八

虎

眼

其三十九

虎

眼

其四十

虎

眼

其四十一

虎

眼

其四十二

虎

眼

其四十三

虎

眼

其四十四

虎

眼

其四十五

虎

眼

其四十六

虎

眼

其四十七

虎

眼

其四十八

虎

眼

其四十九

虎

眼

其五十

虎

眼

其五十一

虎

眼

其五十二

虎

眼

其五十三

虎

眼

其五十四

虎

眼

其五十五

虎

眼

其五十六

虎

眼

其五十七

虎

眼

其五十八

虎

眼

其五十九

虎

眼

其六十

虎

眼

其六十一

虎

眼

其六十二

虎

眼

其六十三

虎

眼

其六十四

虎

眼

其六十五

虎

眼

其六十六

虎

眼

其六十七

虎

眼

其六十八

虎

眼

滑頓
稽智

小僧

と云つて歸つて行く、流石の兆殿司もあきれ返つて後姿を見送つてゐる、宗純ニコ／＼笑ひ乍ら、今しも玄關へ出やうとする出會頭に、學寮の方からツカ／＼ツと出て來た僧侶は、その頃當山の學頭殿長と云つて二十七八才にもなる學問も能く出来る人だ。ヒヨツと顔を見合した宗純は、カラクを衣の袖に隠してツ／＼と行き過ぎやうと隠してツ／＼と行き過ぎやうとそれを掛けた時に問答しかけられる、このカラクといふのは禪家の袈裟についてゐるものゝ名で、禪家の僧だと云ふ印である。すると、このカラクといふのは禪家の癖にと心地う思ふた

殿敵を見て旗を捲くは何如」と開ひかけた、此の時宗純は少しあ騒がず

宗「天下泰平々々」と答へてツ

德寺へ歸つて來た。

「つと元闘へ出て、そのまゝ大

宗「エお師匠様、只今歸りました」

養「オ、宗純か、御苦勞であつた、どうだつたな返事は」

宗「ち、御書面の趣は委細承知致しました、いづれ四五日

のうちにお目にかかり、その節ゆるゆる御詫申しませう」と斯様に申されました

宗「お前はなんと云つたかと申されまし」

養「怪しからんことを申したな申されまし」

宗「ヘイそれで御用事はすみま

したが、歸りかけに兆殿司様の仰しやは、お前の師匠

養「ウム、それだけ別に用はないのか」

宗「イ、先達つてお貴ひになりましたして、お仲も睦じく、近いのは困る、ヨシ／＼乃公が

養「それはどうも飛んでもない事を云つたな？」

宗「ところがそろ申しますと何

れから貴ふたとのれ尋ねでし

たから、東福寺の兆殿司様の娘御と申しますと、吃驚なす

つてもよろしく、歸らつ

しやいと申しましたから、玄

關まで下つて來ました、途

中で向ふの殿殿殿に遇ひまし

た、私は間ひかけられると面

倒だと思ひカラクを袖で隠し

ますと、殿長は敵に旗を捲は

如何んと問ひかけましたから

私もだまつて居られませんゆ

へ、天下泰平々々と申しました

へ、天下泰平々々と申しました